

学校 教育 目標	目指す子どもの姿「元気いっぱい やさしいいっぱい 何でもチャレンジ 南っ子！ ～「ふるさと本牧」を担う子どもの育成～ 知 ○問題解決の力を高め、自ら問題を解決しようとする、実践力を育てます。 徳 ○思いやりの心を高め、相手の立場を尊重し協力できる態度を育てます。 体 ○活動に必要な力を高め、知識・技能の基本を習得し、健康な体力づくりができる力を育てます。 公 ○自分たちのまち、そして横浜を愛し、地域やものを大切にする態度を育てます。 開 ○多様な人たちの中でコミュニケーションの力を育み、社会の変化に対応する力を育てます。				
	学校概要 創立 49 周年 学校長 大塩啓介 副校長 長井将吾 2 学期制 一般学級：9 個別支援学級：2 児童生徒数： 252 人 主な関係校： 大鳥中学校・本牧中学校・間門小学校・本牧小学校・大鳥小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	大鳥中学校 本牧中学校 間門小学校 本牧小学校 大鳥小学校 本牧南小学校	○本牧のまちと関わりあいながら学び、まちを大切にする子ども ○多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ○学習や生活のよい習慣を身につけ、確実に力を伸ばそうとする子ども ・「ふるさと本牧」をベースにした学習を多く取り入れる。 ・小中合同授業研究会を年2回行い、各教科等域において「9年間で育てる子ども像」を意識した授業を展開する。 ・児童生徒の交流日に、6年生が中学校の合唱コンクールに積極的に参加したり、中学校へ訪問し、授業を受けたりする機会を設ける。

中期 取組 目標	知○「分かる授業」「楽しい授業」を展開し、学習形態を工夫します。もっている知識・技能の活用力を高め、問題解決に必要な思考力を育てます。 徳○自尊感情を高め、規範意識を育て、互いを尊重し合えるような社会性を育てます。 体○「食事・睡眠・運動」の大切さを知り、基本的な生活習慣を身につけ、健康づくりに自ら取り組む姿勢を育てます。 公○地域の方々との交流を深め、「ふるさと本牧」を愛する気持ちを育てます。 開○地域の歴史や伝統文化を学び、新しいふるさと本牧を創り出そうとする気持ちを育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 評価・学力委員会	基礎基本の定着のため、従来行ってきたドリル的な学習と少人数学習に加え、重点研究で取り組んで得た算数の思考を伴う学習展開をさらに発展させていく。どの教科も、問題解決的な学習を行い、児童が楽しい授業を推進していく。放課後学習支援や特別支援教育、教科担任制等により、個々の児童にもより柔軟に対応していく。
豊かな心 担当 人権教育委員会	幼保小の連携と同時に、校内での縦割り活動を更に充実、地域行事への積極的な参加等を通して、児童の自尊感情を高めていく。横浜マラソン給水パフォーマンス等、地域行事に参加し、ボランティア精神を養い自己有用感を高める。また、道徳教育を中心とした人権教育を推進する。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	個別支援級と一般級との情報共有を密にし、日頃から交流時の様子を情報交換して連携の推進を図る。また、交流、通級、取り出し、TTなど、個々の状況に応じた様々な取り組み形態により、児童の実態に即した対応を図っていく。国際教室を設置し、日本語指導の充実を図ると同時に、職員全体で授業のユニバーサルデザインへの理解を深め、それを様々な授業の場面で推進していく。
児童指導 担当 児童指導委員会	スタンダードを見直し、児童の実態に即していくと同時に、全教職員で共通理解を図り、どの児童にも同じ指導ができるようにする。また、教務会やいじめ防止対策委員会、職員会議や職員室での様々な会話の中で情報共有を進め、細やかな児童理解を進めていく。
健やかな体 担当 健康教育委員会、体育部	歯科衛生をベースにしなが、全校参加の学校保健委員会や日々の保健指導などを通して、基本的な生活習慣を身に付けさせる。また、体力向上週間での体育的活動を通して、めあてをもって意識を高め、自分の体力に合った健康づくりの行動化を図る。
地域連携・ 学校運営協議会 担当 安全教育委員会、教務部	防災に対する意識を高めるとともに、避難の仕方・家族の約束事等、様々な災害時における適切な避難についての指導を進める。また、不審者を想定した訓練については、休み時間など授業以外の場面での訓練を行うことで、一人ひとりが考えて行動し、自身の身を守るようにする。また、地域防災拠点訓練に学校として参加し、防災意識を高める。また、学校運営協議会を通して、児童の健全育成の取り組みについて共有し、協力体制の強化を推進する。
自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 教務部	児童一人一人が、働くことの意義や尊さを理解し、将来に夢や希望、目標をもてるようにするため、出前授業や出張授業、まちの人達と一緒に活動をする学習に多く取り組む。また、自己肯定感を高めるために、自分と人や物事との関係性を理解する中で、自分らしさを発揮しながらお互いの良さを認め合い、確かな学力の向上を図る。
担当	
いじめへの対応 担当 児童指導委員会	授業や普段の活動の中での児童を細かくみとり、人権に配慮した発言や行動ができるように指導していくとともに、道徳や学級活動などを通して、いじめに関する感性を養い、いじめを起こさない風土づくりを進める。また様々な場面で、温かい学校づくりに児童自身がどのようなことができるか、考えながら行動できるよう指導を行う。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 マンターチーム	人材が育成されるために、初めての業務に対して、よく知っている職員とともに行うように配置を工夫する。また、OJTが行えるよう、次の人材を見通した校内人事を行う。マンターチームによる若手育成の幅を広げ、信頼されているベテランから具体的な行動についての指導を行い、教員としての資質の向上を図る。